

市民力かわら版

平成19年9月15日
編集/市民力かわら版編集委員会
発行/矢板市秘書政策室
電話：0287-43-3764
ファクス：0287-43-2292
Eメール：
yaita@city.yaita.tochigi.jp



写真 創造の滝(県民の森) 撮影：仲島 寿一

「市民力かわら版発行にあたって」

矢板市長 遠藤 忠

過日「やいたみんなのつどい」で実施した矢板市民の意識調査の中で、矢板市の良さとして次のようなことがあげられています。

比較的穏やかな気候と四季折々変化をみせる高原山、心やすらぐ田園風景などの豊かな自然、変化に富んだ自然があること。また、災害が少ないことや首都圏に近く関東平野の北限として自然と都市が共存できる地域であること。さらには、恵まれた自然と穏やかな気候・風土によって育まれた勤勉で実直な人間性や文化をあげる方もいました。

しかし私たちは、住みなれたこの地にどっぷりと漬かってしまっ、その良さに気づ

かずにあたりまえのことと
思ってしまった。そ
れどころか、不平不満ばかり
り多くなってしまう、こ
の自分の住む矢板市を否定

してしまふことさえあります。
今、矢板市にとって大切なことは、市民
それぞれが、自分の住むまちに対しての愛
着や誇りが持てるようにすることだと思っ
ています。

そのためにも、これからは矢板市をしつ
かり見つめ直し、その良さを知り、それを
守り、育て、伝えていく活動を進めていか
なければなりません。

市民一人ひとりが、自分たちのまちは自
分たちで良くしていくという気概を持つこ
と、市民それぞれがよりよく生きるための
問題解決力を身につけることが大切だと思っ
ています。

私はこれを「市民力」という言葉で機会

あるたびに主張してきました。そして、最
近では、市内各地域において、市民力を発
揮したさまざまな取り組みが行われてきて
います。

こうした取り組みを、多くの市民の皆さ
んに知っていただくために、その地道な活
動を紹介したり、地域の身近な話題や行事
をとりあげるなど、市民の視点を生かして
企画・取材・編集まで市民の手で行う広報
紙「市民力かわら版」を発行することに
いたしました。

この「市民力かわら版」の発行にあたっ
ては、六名の方が市民記者として応募され、
それぞれがこれまでの経験や特技を生かし、
その力をかわら版に還元しようとする意欲を燃
やしています。

「市民力かわら版」が、地域における市
民力を発揮したさまざまな活動の起爆剤と
なることを願っています。

市民力かわら版の愛称を募集中！

編集委員会では、「市民力かわら版」の愛称を募
集しています。あなたにとって矢板をイメージする
ような、素敵な愛称を、どしどしお寄せください。
ハガキ、ファクスまたはEメールで10月31日までに
矢板市秘書政策室(〒329-2192 矢板市本町5-4)に
応募ください。

【市民力かわら版 創刊号の特集】

編集委員会では、創刊にあたって矢板の今を
まず知ることから始めようと、「どうすっぺ矢
板100人アンケート」を実施いたしました。

市民の皆さんが矢板のことをどう思っている
のか。好きのところ・嫌いなところ・10年後
どうなってほしいと思っているのか、耳の痛い
ことも含めて、皆さんの本音を集めてみました。
さて、皆さんはどう感じられることでしょうか？
(内容は2～4頁に掲載しています)

どうすっぺ矢板・100人アンケートの集計結果
(ご協力ありがとうございました)

	学生	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	0	3	8	7	17	19	11	65
女	2	5	6	7	9	8	2	39
合計	2	8	14	14	26	27	13	104